

- 問1 明治時代に、板垣退助たちが中心となって「国会を開いて国民の声を聞くべきだ」と訴えた政治運動を何と  
いいますか。
- 問2 江戸時代に、ききんなどで苦しむ農民たちが、重い税を減らしてもらうなどの要求を通すために、力を合わ  
せて起こした抵抗運動を何といいますか。
- 問3 なぜ大日本帝国憲法では、天皇が陸海軍を直接指揮する（命令して動かす）「統帥権（とうすいけん）」を  
持つことになったのでしょうか。
- 問4 日本が世界の平和を守るための機関である「国際連合」に加盟したのは、西暦何年ですか。
- 問5 戦争中に出された「召集令状（赤紙）」は、どのような目的で国民に届けられましたか。
- 問6 明治政府がおこなった「富国強兵」とは、どのような国づくりを目指した政策ですか。
- 問7 最初の衆議院議員選挙で、選挙権を持っていた人は、当時の国民全体の約何パーセントにすぎませんでしたか。
- 問8 日本がサンフランシスコ平和条約と同時に、アメリカとの間で結んだ条約は何ですか。
- 問9 ナンキン事件は、日本軍が何という戦争を行っているときにおきた事件ですか。
- 問10 江戸幕府がたおれたあと、明治の新政府がおこなった政治改革と、それにとまって起こった社会の大きな  
変化のことを何といいますか。
- 問11 西南戦争が終わった後、政治を変えようとする人たちの動きは、どのように変化していききましたか。
- 問12 大隈重信が、立憲改進黨という政党を結成したのは、どのようなことにそなえるためですか。
- 問13 八幡製鉄所が北九州につくられたことにより、日本の産業はどのように変化しましたか。
- 問14 大日本帝国憲法のもとでつくられた「帝国議会」は、どのような二つのグループで構成されていましたか。
- 問15 1923年に発生し、東京や横浜などの関東各地に大きな被害をもたらした大地震を何といいますか。
- 問16 第二次世界大戦の期間中に、日本が東南アジアへ軍隊を進めた主な目的は何ですか。
- 問17 日本が第一次世界大戦に加わる理由となった、日本と同盟を結んでいた国はどこですか。
- 問18 1911年に、日本が自国で税率を決める権利（関税自主権）を取りもどす条約改正に成功した外務大臣はだれ  
ですか。
- 問19 1950年の朝鮮戦争をきっかけに日本の景気がよくなり、経済が大きく発展したことを何といいますか。
- 問20 戦争が長引いて国内の食料品などが不足したため、国が物資を割り当てて配るようになった仕組みを何とい  
いますか。
- 問21 かつて日本が結んでいた不平等条約において、日本が輸入品にかかる税の額を自由に決められなかったこと  
は、国の経済にとってどのような問題がありましたか。

## 答え合わせ・解説 No.8

問1	<b>答え</b> 自由民権運動	当時の政府が少数の人々だけで政治を決めていたことに対し、板垣退助たちが国民も政治に参加する権利があると考え、国会の開設などを求めて立ち上がった運動です。この運動が広まったことで、のちに日本で初めての議会が開かれることにつながりました。
問2	<b>答え</b> 百姓一揆	江戸時代に、農民たちが生活の苦しさに耐えかねて、自分たちの要求を藩や幕府に認めさせるために組織的に行った行動を百姓一揆と呼びます。単なる暴動ではなく、農民同士が団結して意志を示すための行動でした。
問3	<b>答え</b> 軍隊を政治から切りはなして、天皇のもとで安定させるため	当時の政府は、議会や内閣などの政治の意見によって軍隊の動きが左右されると、国の守りが不安定になると考えました。そのため、政治を行う内閣とは別の立場で、天皇が直接軍隊を指揮する仕組み（統帥権の独立）にすることで、軍隊の強い力を保とうとしたのです。
問4	<b>答え</b> 1956年	日本は第二次世界大戦が終わったあとの1956年に、国際連合への加盟が認められました。
問5	<b>答え</b> 国民を兵士として戦地へ行かせるため	召集令状（赤紙）は、多くの国民を兵士として戦地へ行かせるために出された令状です。
問6	<b>答え</b> 産業を発達させて国力を高め、強い軍隊をもつ国。	富国強兵は、産業を盛んにして国を豊かにし、それによって強い軍隊をつくることを目指した政策です。
問7	<b>答え</b> 約1%	選挙権があたえられたのは重い税金を納める一部の男子だけだったため、国民全体の約1%にすぎませんでした。
問8	<b>答え</b> 日米安全保障条約	サンフランシスコ平和条約と同じ日に、日本とアメリカの間で結ばれた条約です。
問9	<b>答え</b> 日中戦争	ナンキン事件は、日中戦争の最中に日本軍が南京を占領したときにおきた事件です。
問10	<b>答え</b> 明治維新	江戸幕府が終わり、明治の新政府が進めた政治の改革や、それによって社会の仕組みが大きく変わったことを明治維新といいます。
問11	<b>答え</b> 話し合いで国会を開くことを求める運動に変わった	西南戦争で士族による武力反乱が失敗したことで、それ以降は、力づくではなく言葉や議論を通して政治に参加しようとする「自由民権運動」が主流になっていきました。
問12	<b>答え</b> 国会を開設すること	大隈重信は、国会が開設されることにそなえて立憲改進党を結成しました。
問13	<b>答え</b> 重工業が大きく発達した。	八幡製鉄所がつくられたことで、鉄鋼の生産が盛んになり、日本の重工業が大きく発達しました。
問14	<b>答え</b> 衆議院と貴族院	帝国議会は、貴族院と衆議院という二つの議院からなる「二院制」をとっていました。貴族院は皇族や華族などの特権的な身分の人たちで構成され、衆議院は選挙によって選ばれた議員で構成されるという違いがありました。
問15	<b>答え</b> 関東大震災	1923年に東京や横浜など関東地方の広い範囲に大きな被害をもたらした大地震を関東大震災といいます。
問16	<b>答え</b> 石油などの資源を確保するため	戦争が長びくなか、日本は戦いを続けるために必要な石油や鉄などの大切な資源が不足していました。そのため、それらの資源が豊富な東南アジアへ軍隊を進めるといった判断をしました。
問17	<b>答え</b> イギリス	日本はイギリスと同盟を結んでいたことを理由に、第一次世界大戦に加わりました。
問18	<b>答え</b> 小村寿太郎	小村寿太郎は、1911年に関税自主権を回復する条約改正に成功した外務大臣です。
問19	<b>答え</b> 高度経済成長	1950年の朝鮮戦争をきっかけに、日本の経済が大きく発展した時期のことを高度経済成長といいます。
問20	<b>答え</b> 配給制	戦争によって食料品などの物資が足りなくなったため、国が割り当てて配る「配給制」という仕組みがとられました。
問21	<b>答え</b> 外国の品物ばかりが売れて、日本の産業が育ち	関税（輸入品にかかる税金）の割合を日本が自由に決められないと、安い外国製品が大量に入ってきたときに税金を高くして調整することができません。そのため、日本の国内で作ら

